

S A S (サイエンス アドベンチャー スクール)

SASのSはScience(科学)のS, AはAdventure(冒険)のA, SはSchool(学校)のSです。科学の先端を追求する都市にあるという地の利を生かした特色ある授業作りに取り組んでいき、校区にある大型放射光施設(SPring-8)の研究者の協力を得て、SASは、1998年度から始まりました。本年度は5回を予定しており、その1回目として、兵庫県立大学で生物物質機能解析学を専門にしておられる、園部誠司先生をお招きしました。授業を受けた6年生は、電子顕微鏡を通して、アメーバやゾウリムシについて観察を行いました。子どもたちはとても興味深そうに取り組んでいました。



普段の理科の授業では使わないような、立派な顕微鏡や実験道具、初めて知る内容が満載で子どもたちにとっては、ずっとわくわくした授業となりました。第2回には、元兵庫県立大学天文科学センター西はりま天文台に勤務されていた、時政先生にお越しいただき、星についての講義を予定しています。